

令和8年度 石田小学校アクションプラン

令和8年度 石田小学校 アクションプラン - 1 -	
重点項目	生徒指導（挨拶習慣の育成）
重点課題	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる児童の育成
現状	・相手から挨拶をされたとき、挨拶を返すことができる児童は多いが、自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる児童は多くない。
達成目標	・挨拶に関する自己評価カードの達成率80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会が中心となり、挨拶運動の継続、充実を図る。挨拶を活性化させる策を考えたり、各学級へ提案して意識を高めるための話し合いを設定したりして、挨拶運動の充実を図る。 ・学校だよりや学年だより等を通じて学校の取組を知らせたり、家庭での挨拶のより一層の活性化を呼びかけたりして、家庭や地域と連携して挨拶の習慣化を図る。 ・朝活動や学級活動の時間にソーシャルスキル・トレーニングや対人関係ゲームを適切に取り入れ、好ましい人間関係づくりに努める。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学年懇談会

令和8年度 石田小学校 アクションプラン - 2 -	
重点項目	健康・安全
重点課題	望ましい生活習慣の確立
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・8時間以上寝ることができた児童の割合は、約74%で、朝からあくびをしていたり、始業時刻に遅れたりするなど、睡眠時間が足りていないと思われる児童が見られる。 ・昨年の7月に行った学校保健委員会で、睡眠の大切さについて学んだことで、8時間以上寝ている児童の割合が増加した。しかし、3学期になると意識が薄れてきたのか、目標の達成率は下がった。また、高学年やメディア視聴の時間が長い児童の睡眠時間が足りていない様子が見られる。 ・睡眠時間の確保とともに質のよい睡眠になるように働きかけていきたい。
達成目標	・睡眠時間が8時間以上の児童の割合が80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期の学校保健委員会は「メディアと睡眠」をテーマに開催し、児童と保護者への呼びかけを行う。 ・グラウンドや体育館での運動を奨励し、質のよい睡眠につながるようにする。 ・毎学期、強調週間を設定し、チェックカードを用いて睡眠時間への意識を高める。保健だよりや学年懇談会を通して、家庭の生活時間に合わせた睡眠時間の確保をお願いし、連携しながら取り組む。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学年懇談会

令和8年度 石田小学校 アクションプラン - 3 -	
重点項目	学習指導
重点課題	相手意識をもって伝え合う力の向上
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は「聞く」「話す」の項目において肯定的な回答をした児童の割合がそれぞれ80%を超えた。 ・相手を意識して話す点や自分の考えが相手に伝わるように、理由や根拠となる資料を使って表すという点について、さらに力を高めていく必要がある。
達成目標	・「石田スタンダード」（年間を通して学校全体で取り組む共通の重点）における「聞く・話す」の項目で「できた」という割合が85%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見との共通点や相違点を考えながら発言したり、振り返ったりする活動を通して、相手との関わりが意識できるようにする。 ・写真や図、作品等を用いながら、自分の調べたことや考えたことを伝えることができるように、授業の構想や授業展開を工夫する。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学年懇談会

